教　科	社会科	学　年	第 2 学年	担当者	泉　高男　　由里　典子

[教科目標]

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

[使用教科書・教材等]

新しい社会地理・歴史（東京書籍）地図帳（「中学校社会科地図」帝国書院）
A 4ファイル

[学習計画]

学期	単　元　名	学　習　の　ね　ら　い　(身につけたい力)	準備物
1学期	（地理） ・世界から見た日本の自然環境 ・人口から見た日本 ・産業、資源、環境から見た日本 ・結びつきから見た日本	・世界と日本の地形や気候、災害のようすがわかる。 ・世界と日本の人口の分布や変化のようすがわかる。 ・世界と日本の産業、資源、環境の特徴がわかる。 ・世界と日本の交通・通信、貿易等を通じた結びつきのようすが分かる。	＜地理＞ 教科書 ノート 地図帳
	（歴史） ・近世の日本	・世界各地や日本の結びつきのようすがわかる。 ・信長や秀吉の全国統一の過程が分かる ・江戸幕府の海外政策の意図がわかる。 ・幕府政治の改革と農村の変化のようすがわかる。 ・元禄文化、化政文化と学問の発達のようすがわかる。	＜歴史＞ 教科書 ノート 地図帳
2学期	（地理） ・日本の諸地域	・日本を地域区分し、それぞれの地域について、中核となる考察の仕方を基にしながら地域的特色を理解する。(九州地方、中国・四国地方、近畿地方、中部地方、関東地方、東北地方、北海道地方) ★ ICT を活用し、課題追究に向けて資料を収集したり、考察した内容をまとめたり、発表することを目指す。	＜地理＞ 教科書 ノート 地図帳
	（歴史） ・欧米の発展とアジアの植民地化 ・近世から近代へ	・市民革命や産業革命を行ったヨーロッパの国々がアジアの国々に進出していったようすがわかる。 ・ペリー来航から開国していく様子とその後の幕府滅亡の過程がわかる。	〈歴史〉 教科書 ノート 地図帳
3学期	（歴史） ・近代国家へのあゆみ ・自由民権運動と国会開設 ・日清・日露戦争と東アジアの動き ・近代日本の社会と文化	・近代的な国家をつくるためのさまざまな改革の内容の目的がわかる。 ・自由民権運動の広がり、憲法制定と国会開設の過程がわかる。 ・東アジアの動きを背景に日本が戦争に至るまでの動き、戦争のあらましと内外の反応、韓国の植民地化がわかる。 ・日本の産業革命と近代文化の特色がわかる。	＜歴史＞ 教科書 ノート 地図帳

[評価の観点と評価の方法]（通知表のつけ方）

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評定への総括
評価の観点の趣旨	社会的事象に関する語句を理解したり、様々な資料（ｸﾞﾗﾌや図、史料など）を読み取ったり、、活用することができる。	社会的事象についてその原因や理由を考えたり、どのような結果になるかを判断できる。また、その内容を様々な方法で発表できる。	社会科の学習に対して、自分なりに工夫したり、粘り強く課題を追究したりするなど意欲的に学習できる。	３つの観点は１：１：１で評定に反映させる。
評価の方法	**テスト（小・単元）** レポート・ワークシート 授業の振り返り	テスト（小・単元） **レポート・ワークシート** **授業の振り返り**	学習における行動 （発言やノートなど） **レポート・ワークシート** **単元の振り返り（まとめ）** テスト（小・単元）	各観点において太字の項目を重視し、評価する。

[授業の受け方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

・授業では「覚える」以上に「考える」ことが大事です。「なぜ」「どうして」を大事にして、とことん考えながら授業に参加しよう。
・ノートづくりに力を入れよう。板書を写すだけでなく、説明や疑問点、イラスト、資料などを余白にどんどん書き込んでいこう。
・「主体的な学び」が大事です。挙手や発表を積極的に行い、授業に参加しましょう。毎時間の授業を大事にすること。

[家庭学習の進め方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

・家庭学習では「覚える」ことが大事です。予習・復習の中で、学習した内容を確実に知識として定着させましょう。
・テスト前には、カードやノートに大事な内容をまとめ、重要用語を覚える学習を開始しましょう。テスト直前には問題集に取り組み、実力を伸ばしましょう。
・新聞やニュースに親しむことによって、社会科で学習した知識に血肉が加えられ、深められます。社会科に対する興味や関心が確実にアップし、社会科の成績にもつながります。